

JIS

ドアセット

JIS A 4702 : 2021

(JSMA/JSA)

令和 3 年 2 月 22 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
(委員)	植 木 暁 司	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	興 石 直 幸	一般社団法人日本建築学会 (早稲田大学)
	清 家 剛	東京大学
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式会社)
	田 辺 新 一	早稲田大学
	永 井 香 織	日本大学
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	福 田 孝 晴	一般社団法人日本建設業連合会 (鹿島建設株式会社)
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	真 野 孝 次	一般財団法人建材試験センター
	村 川 まり子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・ 相談員協会 (鎌倉市消費生活センター)
	山 崎 徳 仁	独立行政法人住宅金融支援機構
	吉 田 可保里	T&T パートナーズ法律事務所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 32.4.26 改正：令和 3.2.22

官 報 掲 載 日：令和 3.2.22

原 案 作 成 者：一般社団法人日本サッシ協会

(〒105-0002 東京都港区愛宕 1-3-4 愛宕東洋ビル TEL 03-6721-5934)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 伊藤 弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 等級	2
5 性能	3
6 外観及び構造	5
6.1 外観	5
6.2 構造	6
7 寸法	6
7.1 ドアセットの幅及び高さ	6
7.2 ドアセットの枠の見込寸法	6
7.3 寸法許容差及び相対する辺寸法差	7
7.4 車いす使用者の出入口に用いるドアセットの寸法	8
8 材料	9
9 試験方法及び計算方法	10
9.1 一般	10
9.2 ねじり強さ試験	10
9.3 鉛直荷重強さ試験	10
9.4 開閉力試験	10
9.5 開閉繰返し試験	10
9.6 耐衝撃性試験	10
9.7 耐風圧性試験	10
9.8 気密性試験	11
9.9 水密性試験	11
9.10 遮音性試験	11
9.11 断熱性の試験及び計算	12
9.12 日射熱取得性の計算	12
9.13 面内変形追随性試験	12
10 検査	12
10.1 形式検査	12
10.2 受渡検査	13
11 製品の呼び方	13
12 表示	14
13 取扱い上の注意事項及び維持管理の注意事項	14
附属書 A (規定) 耐風圧性試験の変位測定点及び計算方法	15

	ページ
附属書 B (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	20
解 説	22

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本サッシ協会（JSMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 4702:2015** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 4 年 2 月 21 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS A 4702:2015** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

ドアセット

Doorsets

1 適用範囲

この規格は、主として建築物の外壁面及び屋内隔壁の出入口として用いる手動開閉操作を行うスイング及びスライディングのドアセット（以下、ドアセットという。）について規定する。ただし、ベランダなどの屋外との出入りに使用するドアで屋外側から施解錠できないドア、及び回転ドアは除く。

また、技術上重要な改正に関する旧規格との対照表を、**附属書 B**に記載する。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS A 1416 実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法
- JIS A 1513 建具の性能試験方法通則
- JIS A 1515 建具の耐風圧性試験方法
- JIS A 1516 建具の気密性試験方法
- JIS A 1517 建具の水密性試験方法
- JIS A 1518 ドアセットの砂袋による耐衝撃性試験方法
- JIS A 1519 建具の開閉力試験方法
- JIS A 1521 片開きドアセットの面内変形追随性試験方法
- JIS A 1523 ドアセットのねじり強さ試験方法
- JIS A 1524 ドアセットの鉛直載荷試験方法
- JIS A 1530 建具の開閉繰返し試験方法
- JIS A 2102-1 窓及びドアの熱性能－熱貫流率の計算－第1部：一般
- JIS A 2102-2 窓及びドアの熱性能－熱貫流率の計算－第2部：フレームの数値計算方法
- JIS A 2103 窓及びドアの熱性能－日射熱取得率の計算
- JIS A 4710 建具の断熱性試験方法
- JIS A 5558 無可塑ポリ塩化ビニル製建具用形材
- JIS A 5905 繊維板
- JIS A 5908 パーティクルボード
- JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
- JIS G 3313 電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯